

虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する左室後壁形成術の長期成績の検討

研究の対象

当院で2011年2月から2020年5月までに術前に虚血性僧帽弁閉鎖不全症と診断され、左室後壁術を施行された方

研究目的・方法

虚血性僧帽弁閉鎖不全症の存在はその生命予後を悪化させるとされており、近年では病態が徐々に明らかにされてきましたが、確立された外科的治療方法は未だありません。当院ではその病態に基づいた治療方法として、左室後壁形成術を施行しています。本術式を施行して10年以上が経過したため、本疾患に対する左室後壁術の手術成績や僧帽弁逆流の制御の程度、その後の心不全入院の有無などを調査し、その有効性を検討します。

研究に用いる試料・情報の種類

治療に関するデータと経胸壁心エコーデータ、また心不全入院の既往

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 心臓血管外科

研究責任者：心臓血管外科 中前 亨介

（住所） 熊本市南区近見5丁目3番1号

（電話） 096-351-8000 （病院代表）

以上